

自然科学教室 第8回「科学の泉—子ども夢教室」～自然に学ぶ～ 新潟県十日町市にて初開催、全国の小中学生より参加者募集

塾長：ノーベル化学賞受賞 白川英樹博士／対象：小学5年生～中学2年生

募集期間：2012年3月3日(土)～4月16日(月)

公益財団法人ソニー教育財団(理事長 中鉢良治)は、自然や科学に興味・関心を持つ小学校5年生から中学校2年生を対象に、第8回「科学の泉—子ども夢教室」の参加者を全国より募集します。

ソニー教育財団では、日本の未来を担う子どもたちの知的好奇心や創造力を伸ばし、新しい世界を切り拓く人材を育てることが大切だと考え、さまざまな教育支援活動を行っています。

「科学の泉—子ども夢教室」は、ノーベル化学賞受賞者の白川英樹先生(筑波大学名誉教授)を塾長とし、夏休み期間中に行う自然科学教室です。全国から集まった約30名の子どもたちが異学年のグループを作り、自然豊かな環境の中で6日間、“自ら考え、行動する”探究活動を行います。また、白川先生が発見した導電性プラスチックの実験にも取り組むなど、最先端技術も体感いただけます。

本プログラムは、自然や科学に対する興味や関心を深め、自然の不思議を追究する楽しさを味わうことに加え、ここで出会った仲間を通じてより良い人間関係の構築を目指すことを目的としています。

■ 6日間の活動 ～子ども自身が自然の中から課題を見つける～

昆虫や植物などが豊富に生息する自然を探索する中で、子ども自身が課題を探し、その探究方法を自ら考え実行していくのが「科学の泉」の特長です。“与えられた課題”ではなく、“自分たちが疑問に思った課題”に取り組む体験を通じて好奇心や創造性を育ててほしいという思いがあります。合宿の最終日には、仲間たちや保護者の前で活動報告を行い、白川先生より一人一人に修了証書が手渡されます。昨年は、「川」をテーマに、そこに住む生き物および水質・水流の調査、魚の解剖などを行ったグループや、「キノコの傘と柄のバランス調査」、「アカガエルやアリジゴクの謎に迫る」をテーマにするなど、6つのグループが、子ども独自の視点で自然や生き物の不思議に着目し、試行錯誤しながら活動しました。

■ 修了後の仲間たちの交流

「科学の泉」では、活動修了後も、これまでの参加者が集い、毎年3月に交流会を行っています。ここでは、その年度に行われた「科学の泉」での探究活動、各自で行っている研究活動、興味を持って取り組んでいることなどを皆で共有し合い、将来の励みとします。同年度に参加した塾生だけでなく、異なる年度に参加した塾生の話も聞くことができるため、交流の輪が年々広がっていきます。さらに、塾生はホームページ上の掲示板でも交流することができます。そのほか、交流がより活発になるようにと卒業生が発案・作成した交流誌「科学の森」が昨年発行、後輩に引き継がれ、今年、第三号が発行されます。



仲間や先生と協力して、観察・実験・記録など探究活動を進めていく(写真①)

導電性プラスチックの実験に取り組む(写真②)

年に1度の交流会でも、自分が興味を持っていることを発表し、夢を育みあう(写真③)

第 8 回 「科学の泉—子ども夢教室」

応募要項 概要

2012 年度募集要項、活動詳細(過去の開催レポートなど)は下記よりご覧ください。

【目的】

<http://www.sony-ef.or.jp/spring/>
参加する子どもたちは、塾長 白川英樹先生や指導員、友だちと過ごす 6 日間の中で、好奇心や創造性を育てほしい。また、観察や試行錯誤などを繰り返し、じっくり追究して疑問を解き明かす楽しさを味わうことで科学に対する考えを深めるきっかけにしてほしいと考えています。

【特長】

- ◎ 豊かな自然にじっくりと浸り、感性を磨いて、好奇心を育む
- ◎ 異学年グループによる構成での活動:グループメンバーが力を合わせることで、自立的な生活の実践
- ◎ 自分たちで決めた探究課題を数日間にわたり追究する取り組み
- ◎ 白川先生と小・中学校教諭の指導員によるサポート
- ◎ 白川先生の研究“導電性プラスチック”の実験
- ◎ 修了後も、同年度・他年度の参加者との交流を持つことができる

【期間・開催地】

開催期間: 2012 年 8 月 5 日(日)～10 日(金)の 5 泊 6 日
開催地: 新潟県十日町市珠川
宿泊施設: 当間高原リゾートベルナティオ
活動場所: 宿泊施設周辺の森林、草原、川など

【指導者】

塾長: 白川英樹先生(筑波大学名誉教授)、指導員: 全国の小・中学校教諭

【募集】

募集期間: 2012 年 3 月 3 日(土)～4 月 16 日(月)※当日消印有効
応募条件: 2012 年 8 月時点で、小学校 5 年生以上中学校 2 年生までの下記条件を満たす児童・生徒

- ✓ 本人が参加を強く希望し、保護者も本企画の趣旨に賛同している
 - ✓ 自然の中での活動や科学に興味・関心がある
 - ✓ 5 泊 6 日の異学年での集団生活ができる自信がある
- ※ 過去に開催された「科学の泉」に参加された方は、応募できません。

募集人員: 約 30 名

応募方法: 下記 4 点の指定用紙をホームページよりダウンロード、もしくは電話にて指定用紙を申し込みの上、必要事項を記入し、郵送にてソニー教育財団までお送りください。

(1) 申込書 (2) 推薦書 (3) 課題作文(400 字以内) (4) 自己紹介文

※詳しくは <http://www.sony-ef.or.jp/spring/> をご覧ください。

※推薦書の記入者は、校長・現担任・前の学年の担任など本人をよく知る先生のどなたかをお願いします。

参加費用: 一人 20,000 円(食費や教材費を一切含みませんが、現地(当間高原リゾートベルナティオ)までの交通費は自己負担)

選考日程: 第一次選考(書類)は 5 月中旬結果発送。第二次選考(面接)は、東京(6 月 2 日(土)、6 月 3 日(日))、大阪(6 月 10 日(日))のいずれかを予定。6 月下旬結果発送。

- ◆ 応募についての問い合わせ、申込先: TEL 03-3442-1005/FAX 03-3442-1035
〒140-0001 東京都品川区北品川 4-2-1 御殿山アネックス 2 号館
公益財団法人 ソニー教育財団 「科学の泉」担当 宛

【参考日程】*予定の日程からは変更になる可能性があります。

- 1日目: 開校式、白川先生による講話「自然に学ぶ」、散策
- 2日目～5日目: 自然探究活動、導電性プラスチック実験、夜空の観察など
- 6日目: 活動報告会、閉校式、白川先生より修了証の授与

～白川英樹博士より、未来を担う子どもたちへ～

--- 「他人のやらないことに挑戦し、深く考えることを」 ---



子どもたちには、自然に身をおいて、いろんなことを自ら見出していく経験をたくさんしてほしいと願っています。教科書や学校で学ぶことはほんの少しです。でも、自然には未知のことがまだまだたくさんあり、新たな発見に出会うことができる宝の山なのです。よく観察し、記録し、調べる、そしてよく考えることで、大自然の中で学ぶ楽しさと、自分自身がひとりで学ぶ楽しさを味わえることでしょう。

そして、理系は理系、文系は文系の勉強だけでは不十分です。理系であっても文学や芸術などいろんなことに触れてください。いろいろなことに好奇心をもち、知性を磨くことが大事なのです。偶然をきっかけにすばらしい発明や発見をする能力を「セレンディピティー」といいますが、ノーベル賞を受賞した導電性プラスチックについても、偶然に起きた実験の失敗から発見ができました。知性を磨かなければ、セレンディピティーのような間違いから何かを発見することはできません。そのためにも、学校の勉強だけでなく、自分自身で勉強してほしいのです。そして、他人のやらないことに挑戦し、深く考えることを覚えてもらいたいと思います。